

地勢

寶島 濱島の東にあり、石多し、同郡○

〔筑前國續風土記一提要〕總論

此國平地廣濶にして、村里絡繹せり、略○中 北海を帯び、南山を負たれば、魚鹽多く、薪材乏しからず。民部式に上國と定めしも、宜成かな。且四方運漕の便よければ、此國の商賣はば、諸國に往來して、有無を交易す。又京大坂諸州の商客も、多く此地に來りて、貨財を商ふ。長崎に近くして、異國の物産を求め置に便宜し、肥前對馬、中國、四國、和泉、紀州、北國、出羽、奥州等諸國の客船も、其土物を載せて多く爰に至り集る故、民生日用のたから満ちて乏しからず。故に九州二島の諸國の人は、此國の城下福岡博多を一都會として來りつどひ、萬の資用を買調ふ。誠に天府の國と云つべし。

〔日本地誌提要六十五〕形勢 東疆ノ連山、南走シテ更ニ西北ニ趨ク、沿海ノ地、岬島嶼、參錯相望ム、曠衍ノ地少シト雖モ、東南ニ大河アリ、灌漑運輸兩ナガラ其利ヲ得、土宜富贍、紡織頗工ナリ、其俗南鄙ハ質實、瀨海ノ郷ハ輕薄、捷給ノ風アリ。

道路

〔日本實測錄七〕從豐前國小倉街道至長崎略○中

筑前國遠賀郡尾倉村 三十三町二十五間半 黑崎宿三十三度五十二分、三里五町二十一間

鞍手郡木屋瀨村三十三度四十六分半、四町三十九間 同追分 一里一十三町四十一間半

山邊村ナホカ直方町 三里一十五町二間半 穗波郡飯塚村三十三度四十分、一里一十三町五十

四間 瀨戶村至夜長郡下秋月村三 二里二町四十四間 内野村 二里二十二町二十七間至

水味三十三町 御笠郡山家村三十三度三十分、二町五十四間半 同追分 三町一十五間 同

大股 四町二十七間 夜須郡朝日村二村町 三十二町四十六間半 御笠郡原田村森之本針至

摺村針摺町三 四町二十三間 同原田驛三十三度二十七分、一里二町五十間半至國界一十

肥前國基肄郡宮浦村略○中